

空きびんの色分けは 模範的

今後も続けたい

＝ゴミ処理対策関連＝

○ 生ゴミ・粗大ゴミ・不燃物の回収の回数を増やせないか。また、将来の計画は

○ 当町は、山武郡環境衛生事業振興組合（加入町村は松尾町・横芝町・蓮沼村・芝山町・山

○ 空きびん回収の色分け作

空きびん回収

武町）に参画してゴミを処理しているが、現在の施設では、処理能力が限界の域に達しているため、回数を増やせないのが現状だ。住民に不便をかけるような施設にすべく、現在、規模拡張を検討中である。



ゴミ処理は一定のルールで

- 環境衛生課
 - ・健康の保持・増進、医療体制の充実93%
 - ・生活排水・廃棄物の処理、上水道の整備、墓地・火葬場の整備等105%
- 教育委員会

- ・幼稚園就園者奨励補助事業・就学援助費の支給・教育広報の発刊・学校給食事業・大総小学校増築工事・その他中学校施設の整備等96%
- ・青少年の健全育成93%
- ・社会教育の推進（公民館活

- 動）76%
- ・スポーツレクリエーション活動87%
- ・歴史・伝統文化の継承103%
- ・文化活動の創造（劇団の公演、各種講演会等）70%
- 全体で94%

業は手間がかかるので中止すべきと思うがどうか

○ 環境衛生組合加入町村の中で、色分けしているのは横芝だけだが、この回収方法は模範的なもので、町民の間でもこの方式が定着している。空きびんに限らず、自らが使用したもの（廃棄物）を適正



みんなで作るよりよい環境

に処分することは、環境対策において大きな前進であり、中止することは考えていない。



正しく飼えばペットも幸せです

一部の自治会では役員だけで色分けしているようだが、環境衛生課も含め、町内会で解決策を見出し出してほしい。

道路の側溝清掃

○ 道路の側溝清掃は町や県が行うべきではないか

○ 道路の側溝は、雨水を排除するために設置されているが、下水道のない当町では、生活排水にも利用しているのが現状だ。都市計画決定後は、下水道の整備をすすめていくが、自分たちの生活排水でもあるので、側溝清掃にご協力をお願いしたい。なお、「側溝のふたは重く取りはずしができない」という声もあるの

で、器具の整備（専門業者への委託も含め）をすすめるとともに、汚泥運搬などについても検討する。

ペット・野犬

○ 犬の①飼い主に対する指導と②野生化した犬の対策は

○ ①道路上など、犬のふんに対し飼い主に苦情が出ているので、犬の正しい飼い方についてのパンフレットを配布して指導していく。

②連絡があり次第、捕獲箱を設置し対処している。

資源の有効利用

○ 森林保護・省資源対策から古紙類と使用済み食用油再利用のための回収は

○ 再生紙利用を目的とする古紙類の回収は、低価格のため採算がとれないようだ。また、使用済み食用油については農業改良普及所の指導のもとに生活改善グループや農協婦人部などが石鹼づくりを実行している。資源保護や環境対策は重要な施策であるので検討していく。